

琉球大学学術リポジトリ

1960年1月の安保条約改定時の朝鮮半島有事の際の 戦闘作戦行動に関する「密約」に係る調査関連文書 No.4

メタデータ	言語: 出版者: 公開日: 2019-02-15 キーワード (Ja): 朝鮮半島有事, ロジャース国務長官 キーワード (En): 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/43880

C

C

88

概 次 北条 通海事務所 半島北条事務所

北条局長 ガレン参事会 照復の件
 42.6.29
 北条局長
 29日 北条局長より、在米半島建設 ガレン参事会と
 照復せられたる旨の通知あり。
 ガ― 沖繩北条事務所 29日 在米半島内の海運は
 研究しているが、半島としては通運問題に
 付、日本政府が事業があるのかどうかを知り
 たいと思つており、事業が無ければ、
 どう対応すべきかを準備し、通知せたい。
 本館― 従来日本政府は通運を公的から要請した
 ことはないが、この問題は最早いつ迄も設置
 し得ずと認め、通運問題を政府自ら取り上
 げることを事業の号へ、近く外務大臣より、大決に
 する。

2
 北条に載せたいと思つて、沖繩通運は
 北條局長、地域協会の意向を踏まえて、
 北條局長、地域協会との協定は、これを半島に
 半島に譲り、問題に付、北條局長、
 北條局長の問題、北條局長の問題であり
 と認められ、この事については、現在はいさく
 検討して来た。
 ガ― 半島から北條局長の問題より、やはり
 我々の北條局長の北條局長の基地使用の方向
 問題の上、北條局長、北條局長に使用
 ことを考へて、いるのではない上に、又、北條局長
 北條局長があること、北條局長、北條局長の
 北條局長は「北條局長にある」と云ふこと
 北條局長の北條局長は「北條局長にある」と云ふこと

3が、親衛隊の活動は現に日々行われ
 ていることあり、危えず人の目を惹きつ
 け子性愛のものがある
 本誌— 戦前の見ると今は核兵器は対する
 従軍の記録からして 軍事施設、物資等の中で
 4 核の問題が最もむづかしいように思ふ
 実際には使用する手段がなく、又配備する計画が
 ないに似て、李土と同じく軍事施設の対策
 とするコミットメントはそれとは別問題のよう
 に思ふ、親衛隊の活動も予備内閣がある
 3が、各角 互量と云う方向に合意してこ
 るの問題を研究することになり
 が— 作中の至急に外務大臣は「其他の自衛使用
 を含む全而通達」を「不気味な通達」と云は

水たが、その持石 互量か言明すれば、
 本誌、¹に上る結果 乃至はその他 結果あり
（親衛隊の親衛隊より）
 終りき結果に 持石²と云う 議論が
 3がは、³あり、半例から見れば、互量
 性になつては、政府から、⁴この互内書信
 から 親衛隊の活動は止めてくれと云うよ
 せに、⁵なるのを 取り扱った 論議がある
 本誌— この互の問題を、今の迄 議論した
 はないのであるが、⁶この互から 軌道にのせてお
 互に 検討することと云うことが、⁷ある
 が— 今迄 中絶した 互量か、⁸互量か、⁹互量か、¹⁰互量か
 の互として、¹¹互量か、¹²互量か、¹³互量か、¹⁴互量か
 互量か、¹⁵互量か、¹⁶互量か、¹⁷互量か、¹⁸互量か、¹⁹互量か、²⁰互量か
 互量か、²¹互量か、²²互量か、²³互量か、²⁴互量か、²⁵互量か

順次に示した件について、反応を見ながら
 取組を進めようとする方針はどうかと
 思ふ
 本官 - いさぐち反応とは、各階級の切替が
 ら - 各階級の切替ではない
 本官 - 互選と去ること、各階級を別々に
 するのは、まずいから、それ以外、余りあるか
 い、反応など、取りかかると、何れにせよ
 互選と去ること、如何の段階か、手
 止まりか、自給には、自給に拡大
 本官 - 一元化の取組は、大いに進めよう、
 本官 - 互選自体は、一帯に、行ないて
 あらう
 ら - 或る程度、そのことを示して、仲絶の人達には

いさぐちの相違、準備の期日を、与えられた方の
 ではないか
 本官 - 互選は、3年、5年、或は10年、との期限
 を附けた号、とのことは、~~今並に打ちあけ~~ 係
 意味がないと思ふ。
 ら - ^{新案は} 附けた期限の時の、情勢を判断し、又、その
 別は、特長とし、互選と去ること、示すもの
 あらう、然るに、仲絶は、すぐ返せと、~~との~~
 のではない、御承知の如く、日本の中、には
 平和憲法、反戦感情、核問題、等々、いさぐち
 本官 - 本官 - 事情があり、先が、如何の条件か
 互選が可能であるか、に、半断と、権限、
 互選と去ることの意向を、~~示す~~ 示す
 互選を、決して、行かぬ、必要がある、その作業
 を、軌道に乗せなければ、ならない、と、号、する

がある。
 が一最近の空軍に内閣の議案を提出した
 がこれは今秋の概算に因り、沖尾は
 右の如く空軍の増強を要求した
 号があるが
 本館 - 空軍の増強が空軍を主として
 いまは ~~何~~ 何でもない、国会議決からの
 いわは ~~偶発~~ 偶発的なものである、今御
 議の如き号が在るかどうかが知らないが
 空軍は今迄 ~~増強~~ 沖尾の管にかゝる
 官兵のようである、軍事の備へ
 ありとの誤解はない、これは早速返答し
 て置かねば困るのである。
 が一空軍に軍事の備へがない訳ではない

軍事の基礎を日本本土並みの
 基礎ではとしないような使い方をい
 ともある
 本館 - 施設維持を目的とする軍
 事的施設ありと云ふ誤解は無い、
 が一國務省の報告は勿論、海軍でも
 東京、島、母島を基地に視察しては
 いるが、問題がある、下層の報告は
 依然として得ない、その事実があるか、軍
 事は依然として強いる立場をとり、
~~本館 - 空軍の増強が空軍を主として~~
~~ありとの誤解はない、これは早速返答し~~
 すると云ふことは、既成事実から
 して、返答の準備は何かと云ふこと

入るに得ない

本館 - 米側は平和条約上の権利であり

少しの価値があるから施設権保持は当然なりとの主張であらうか 然るは本意

を置かぬべきものであるから余程の理由がない限り施設権を保持するのは *injurious*

なりと考へては可い。米側は向來も平和条約上の権利を握りつづけては

止めを食はなければならぬ。が - 自分は明日から他事を優先的に置くこと

にしようといふが、前任前に仲絶小室等の問題についての報告をまとめている。